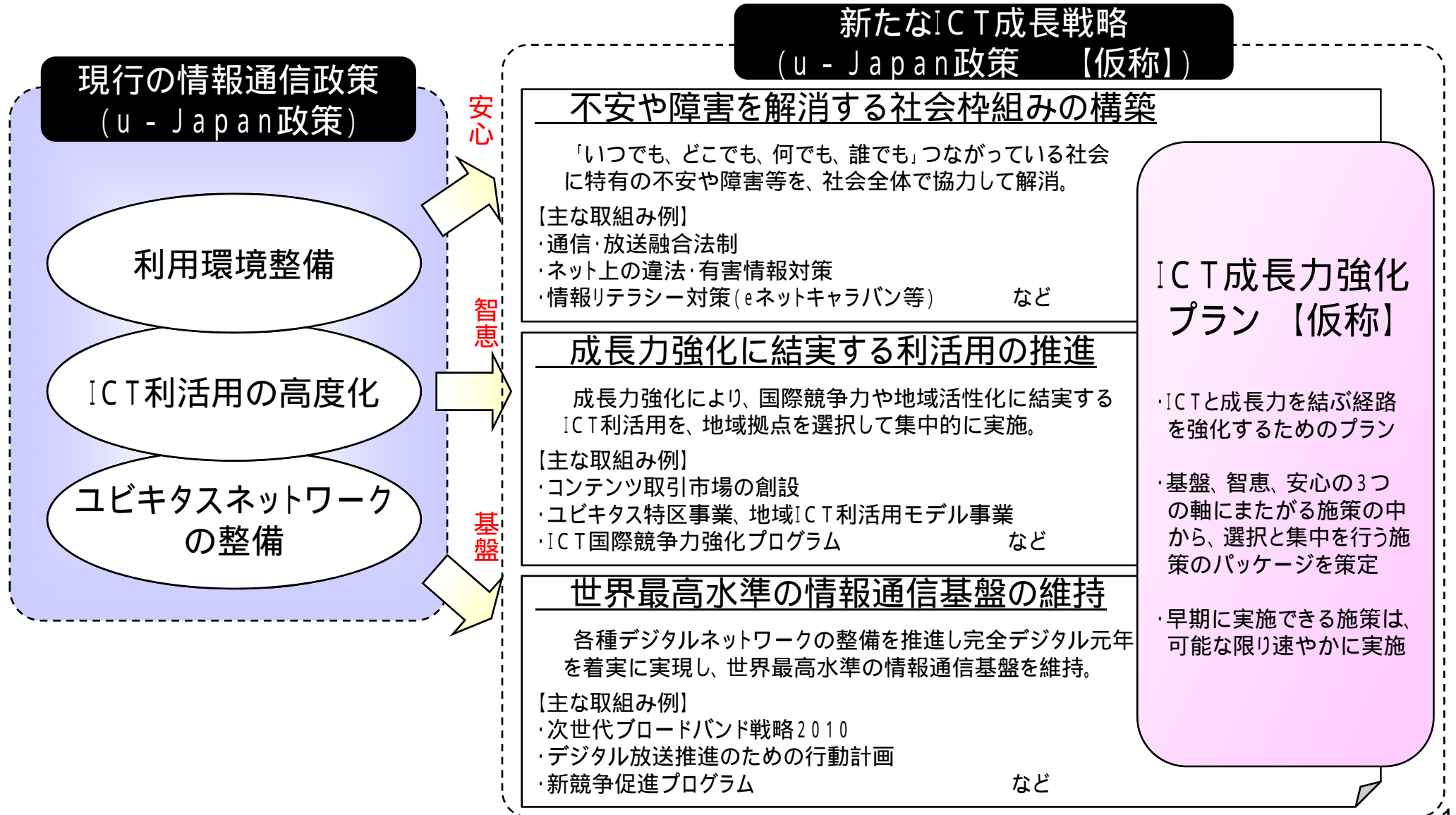


# 政策の基本的方向性(案)

総務省 情報通信政策局

# u - Japan政策の見直しの基本的方向性(案)

u - Japan政策の3つの軸を発展させつつ、「ICT成長力強化プラン(仮称)」を策定してはどうか。



# 「ICT成長力強化プラン(仮称)」に盛り込む施策の整理について【イメージ】

	構成員等からの主な指摘事項	政策のヒント(例)	大方針	生産性	外部性	資本	労働	その他
社会像	未来のユビキタス社会実現が成長力の鍵	・ユビキタス社会に関するコンセプト、未来イメージ等のビジョン提示	○					
大仕掛けの玉	象徴的な大型プロジェクトが必要 世界的な視野での仕掛けが必要 地域社会や産業の「つながり力」を高める必要がある	・民産学官の連携による大型予算プロジェクトの検討 ・世界から重要人物が集まる定例イベントの開催 ・地域社会や産業の「つながり力」を高める施策の総合パッケージ化	○ ○		○ ○	○		
持続可能社会	ワークライフバランスの推進が必要 地球環境とのバランスに配慮した成長戦略が必要	・テレワークの一層の推進 ・ICTの環境負荷低減とICTによる環境負荷低減の双方を推進する総合的施策の展開	○				○	
戦略的育成分野の設定	国際競争力のスケールを有する企業を創出すべき コンテンツ周辺の産業力強化が必要 ベンチャー企業の育成が重要 NGN等の日本の強みを活かした成長力を育成すべき 成長力の源泉となるICT人材の育成を強化すべき	・再編を促すための国際競争力強化策の検討 ・コンテンツを軸とした戦略分野の産業政策の検討 ・ベンチャー支援の強化策の検討 ・NGNや3G、地上デジタル放送を核とした国際競争力施策パッケージ化 ・理系教育、ICT教育の抜本強化策	○	○	○		○ ○	
徹底的なICT活用	産業全般でのICTの徹底的な利活用が重要 ICT利活用による生産性向上のあり方を再考すべき	・ICT利活用促進のための重点産業分野の設定 ・ICT利活用による生産性向上施策 ・個人レベルでの知的生産性革命		○ ○ ○			○	
社会制度改革	ICT利活用に関する制度総点検が必要 医療分野、教育分野におけるICT利活用促進が必要 行政サービス分野におけるICT利活用促進が必要	・ICT利活用の支障となる制度の総点検の実施 ・医療、教育分野のロードマップ策定 ・ワンストップ電子行政サービスのロードマップ策定		○ ○ ○				
その他	今後の政策検討における工夫が必要	・緊急的対応の施策メニューの検討 ・数値目標や政策評価の積極活用						○ ○

**【参考】 第1回～第3回の主な議論**

# これまでの主な議論

## 社会像

### 未来のユビキタス社会実現が成長力の鍵

- ・ 産業の隅々までユビキタスネットワークが浸透することで、新しい動きが開花。
- ・ 真の意味でのシームレス化が重要。
- ・ 日本全国あまねくユビキタス化を進めることが必要。
- ・ ユビキタスに関する明快なコンセプト、明るいうライフスタイルの提示が必要。

## 大仕掛けの玉

### 象徴的な大型プロジェクトが必要

- ・ 国の役割は、民間ではリスクが大きくできないものに対する初期投資。需要を喚起すべき。
- ・ ハード、コンテンツ、人材支援等を一体化できるプロジェクトを興し、その中で具体論を検討すべき。
- ・ 京都には経済価値の高い文化財が眠っており、これらを片っ端からデジタル化する取組が必要。
- ・ 図書館にはデジタル化できるコンテンツが豊富にあり、これらをNGNと組み合わせて活用すべき。

### 世界的な視野での仕掛けが必要

- ・ グローバルな視点で、政策を立案すべき。
- ・ 日本に関心が高く若い世代が多い発展途上国等を巻き込むような仕掛けが必要。
- ・ 中小のコンテンツ事業者によるグローバルな事業展開への支援が必要。
- ・ 規模の経済を追求し、初期段階からグローバル市場を意識すべき。

### 地域社会や産業の「つながり力」を高めることが必要

- ・ ICTで垣根を取り除き、「つながり力」を高めるローカルな仕掛けが重要。
- ・ 「つながる」ことがICTのメリットであり、リアルとバーチャルをどうつなげるかが鍵。

## 持続可能社会

### ワークライフバランスの推進が必要

- ・ デジタル武装した主婦の潜在力は大きい。男性も含め、在宅で仕事ができる機会を拡大すべき。
- ・ ICTの活用によるワークライフバランス、働きすぎ解消が今後の勤労世代には不可欠。

### 地球環境とのバランスに配慮した成長戦略が必要

- ・ 渋滞・CO<sub>2</sub>排出量を半減し、交通事故死者を限りなくゼロにする「交通物流ルネサンス」を追求。
- ・ ユビキタス社会は地球にやさしく、ムダ・ムリ・ムラ削減の工夫で環境負荷低減を促進。

# これまでの主な議論

## 戦略的育成分野の設定

### 国際競争力のスケールを有する企業を創出すべき

- ・ 産業地図の大再編成まで視野に入れ、グローバルな企業を生み出すべき。
- ・ コンテンツ会社の合従連衡を促進すべき。
- ・ グローバル展開可能で裾野の広い規模感のある産業の育成が必要。
- ・ 成長力を考えると、雇用創出が最も重要。大きな雇用を生む企業をつくるべき。

### コンテンツ周辺の産業力強化が必要

- ・ コンテンツは最も成長が見込める分野。広告、デザイン、知的財産権等も含めて、広い視野からトータルの成長戦略を検討すべき。
- ・ シンジケーションを整備し、コンテンツの二次利用を徹底的に促進すべき。
- ・ メディアのコングロマリット化によるコンテンツ制作・供給能力の拡大が必要。
- ・ インフラは優位でもアプリケーションレベルでは海外に遅れをとっている。
- ・ 著作権保護は、保護するだけでなく、自由な利活用とのバランスが必要。  
【例】アメリカのフェアユース(公正利用)のような包括的的制度がない

### ベンチャー企業の育成が重要

- ・ 成功モデルとして、ICTベンチャーの雄を戦略的に育成することが必要。
- ・ 本当の意味でリスクのとれるベンチャーキャピタル等を日本に招き入れる制度が必要。
- ・ 商社としては海外進出のタイミング等に関してベンチャー企業を支援することが有効。
- ・ リスクをとって成功した人が、十分に報われるような資本市場、賃金体系が必要。

### NGN等の日本の強みを活かした成長力を育成すべき

- ・ NGNや3Gを活用したビジネス創造により、異業種連携を促進すべき。
- ・ ユビキタスとNGNの実現により、企業も個人も社会も大きく変革する。

### 成長力の源泉となるICT人材の育成を強化すべき

- ・ エンジニアやデザイナーの育成が重要。
- ・ 高度ICT人材の育成や児童にチアするICT教育の充実を戦略的に取り組むべき。

# これまでの主な議論

## 徹底的なICT利活用

### 産業全般でのICTの徹底的な利活用が重要

- ・ 世界最先端のICTインフラをフル活用することで成長力に結実。
- ・ 既存産業の徹底的なICT化促進が成長力へのインパクトが最も大きく、サポートすべき。
- ・ 既存産業がICT化して成功した海外事例を検証すべき。
- ・ 非ICTサービスとICTサービス、ICT産業と非ICT産業を融合させる視点が重要。

### ICT利活用による生産性向上のあり方を再考すべき

- ・ ネットも携帯も端末も様々なツールが普及している中、なぜ企業や国の生産性につながらないのか、本当に使いこなせているのか。  
【例】 教育面での創造的利用、個人をエンパワーする使い方、セキュリティ面での制約など
- ・ 単なるICT化ではなく、業務のやり方そのものの見直しが重要。
- ・ ICTで生産性が向上できる部分と、その障壁は何かという整理が必要。

## 社会制度改革

### ICT利活用に関する制度総点検が必要

- ・ 技術の問題か、制度の問題かを見極め、追いついていない制度があれば改革すべき。  
【例】 ドバイ空港の国際線自動チェックイン、韓国の住民票の在宅取得、ロボットの法的扱いの明確化など

### 医療分野、教育分野におけるICT利活用促進が必要

- ・ ICT浸透による他産業の生産性向上には、医療、教育等の規制緩和が重要。
- ・ 学校の現場にICTの技術や能力に優れた人を配置して、教育段階からICTの能力を高めるべき。

### 行政サービス分野におけるICT利活用促進が必要

- ・ 立法(議会)や行政の側におけるICTの積極的な活用が重要、専門家を確保すべき。
- ・ 使う側に立った電子政府の構築が鍵。

## その他

### 今後の政策検討における工夫が必要

- ・ 目の前の低い潜在成長率をどうするべきかと、2010年のICT政策をどうするべきかは区別すべき。
- ・ 目標や効果を出来るだけ数値で設定することが必要。